

第2回 第9期かかみがはら高齢者総合プラン策定委員会 会議録【要旨】

1. 開催概要

開催日時	令和5年3月27日(月) 14:30-
会場	本庁舎4階第1・第2会議室
出席者	別紙名簿参照 (欠席者：杉本委員、竹内委員、岩井委員)
議題	1. 開会 2. 審議事項 (1) アンケート調査票について (2) アンケート調査結果(速報)について 3. その他 4. 閉会
配布資料	① 資料1 アンケート実施概要 ② 資料2 アンケート調査票 ③ 資料3-1 アンケート単純集計表(一般高齢者) ④ 資料3-2 アンケート単純集計表(介護保険サービス事業者) ⑤ 資料3-3 アンケート単純集計表(居宅介護支援専門員)

2. 会議録要旨

1. 開会

事務局

ただいまから、かかみがはら高齢者総合プラン策定委員会を開催させていただきますと思います。

はじめに、委員長よりごあいさついただきます。よろしくお願いいたします。

委員長

(委員長によるあいさつ)

事務局

ありがとうございました。それでは策定委員会の開会にあたり、定足数の確認をいたします。各務原市附属機関設置条例第7条第2項に基づきまして、委員の過半数の出席が必要でございます。本日は委員18名中15名ご出席いただいております。過半数に達しておりますので、本策定委員会が有効に成立していることをご報告します。それでは、委員長の進行により本日の議事を進めてまいります。よろしくお願いいたします。

2. 審議事項

(1) アンケート調査票について

委員長

それでは、座って失礼いたします。それでは次第に従って議事を進めていきます。審議事項は2点でございますが、事務局からの説明の後に皆さまからご意見やご質問を頂きたいと思っています。それでは、アンケート調査票について事務局の説明をお願いします。

事務局

(事務局による説明)

委員長

ありがとうございました。ただいまの事務局からの説明についてご質問・ご意見等はございませんでしょうか。

委員

すみません、質問させてください。1番の対象者の要支援1・2認定者と2番の居宅要支援っていうのはどう違うのですか。

事務局

1 番の調査につきましては国で定めがございまして、対象としては一般 65 歳以上の高齢者と要支援 1・2 の認定がされている方の中から 2,000 人を抽出した形になっております。2 番は市独自の調査というような形になるんですけど、要支援 1・2、要介護 1 から 5 の認定を受けている方で人数の分布に合わせてそれぞれ発送しています。

委員長

ありがとうございます。他にいかがでしょう。ちなみに前回はやったんですか。

事務局

Web は今回新たな試みというところになります。

委員長

思ったより少ないかな。

事務局

そうですね。ちょっと問の数が多くて、Web より紙で書く方が多かったのかなっていうふうに推測されます。

委員長

回収率自体もまあまあ前回並みということで、大体数字としても悪くはないのかなというふうに思いますので、報告のご承認といいますか、了解を頂きたいと思いますが、よろしいですか。

(2) アンケート調査結果（速報）について

委員長

はい、ありがとうございます。続きまして、今度はアンケート調査の結果速報ですね。こちらについて、事務局からの説明をお願いいたします。

事務局

(事務局による説明)

委員長

ありがとうございます。それでは事務局からの説明についてのご質問・ご意見がございましたらよろしく願いいたします。はい、どうぞ。

委員

16 ページ、問 64 で、利用したことがある市の介護予防事業、このような少ない

数字になっていますけども、現在どれだけの人が参加されたかっていうのを知りたいです。

委員長

では、ご質問がございましたのでお願いします。

事務局

16 ページ、問 64、参加したことがある介護予防事業に具体的に何人くらいの方が参加しているかというご質問ですが、今ちょっと正確な数字は持ち合わせておりませんが、わかる範囲でお答えいたします。

1 番らしく体操広場、3 のリズムでいきいき教室、こちらにつきましては、月 2 回の教室を市内の 4 会場から 5 会場、これを 3 か月間、これを 1 つの区切りとして年 3 回実施をしております。それぞれ参加人数は毎回違いますが 20 名から 30 名程度で、大体どの回も定員いっぱいになるくらいの方が参加していただいております。

また、2 番の脳のパワーアップ教室につきましては、これは週に 1 回、こちら 2 会場で 3 か月をひと区切りとして年 3 回実施しております。こちらにつきましても、これは体を使うというよりかは脳のトレーニングですね。簡単な計算をやっていただくものになりますが、こちらも定員が 20 名程度ですね。こちらも皆さん定員いっぱい参加いただいております。

また 7 番のフレイルチェック大会ですが、こちら昨年度から初めてやったものになりますが、今年度につきましては 3 会場で稲田園と総合体育館、あとは稲羽コミュニティセンターで実施をしました。それぞれ 30 名から 40 名程度の方がご参加を頂いております。

8 番ですね。フレイル予防ウォーキング事業につきましては今年度新規事業として実施いたしまして、先ほどからちょっとお話もありますがスマートフォンのアプリを使ったウォーキングイベントで、どこかに集まってやっていただくのではないですが、それぞれのスマホのアプリを使ってそれぞれでウォーキングをしていただくという形になります。こちら今年度 598 名の方がご参加を頂いているところでございます。

いずれも参加したことがないという方が 80.9% ということで、ちょっとこの数字につきましては担当の係としてはちょっとショックな数字であり、周知を図る必要があると感じているところです。

委員

ありがとうございます。

委員長

実際にこれからの策定委員会の中では、いわゆるこの 3 年間の実績っていうのも出てきますよね、まとめてですよね。特に今期については、例えばフレイル予防なんか重点目標に据えるので、成果がどういうふうな形、数字で出てくるかっていうの、それから実際に調査をしたところの関係性っていうのも、これから委員会

の議論の中でやっていくと思いますので、そういった資料もよろしく願いいたします。他にはいかがでしょうか。

委員

社協ですが、感想的なことでもよろしいですか。

委員長

お願いします。

委員

10 ページなんか、これ一般高齢者の方なので 65 歳以上のほぼ健康な方って考えた時に、9 ページの、以降問 32~33 から地域福祉活動への参加とか、10 ページの問 34 からは地域活動への企画・運営としての参加意向とかサロン活動、見守り活動、配達、お弁当、生活支援、送迎サービス、これ、参加したくないっていうのがすごく高いですね。参加したくないって思ってる方がこんなに多いことに少しびっくりしたのと、だけれども、20 ページの問 68 は、これ、地域のつながりが必要だと思うかっていう問は、「思う」と「必要だと思うができてない」っていうのが結構高いですよ。この辺ってどうやって考えるといいのかっていうのがちょっと……必要だと思うけど参加したくないのかなって思ってみたりとか、あと、健康な人なので、どこだったかな。幸福度調査みたいのがあったと思うんです。13 ページに現在の幸せの程度って、これ 10 点が満点っていうことでいいんですかね。

事務局

そうですね。

委員

そうすると案外皆さん高くって、その下の気分が沈んだり憂鬱な気持ちになったかのとか、いいえとか、興味が湧かないことがあったかっていいえって結構高いんで、皆さんこれはお元気なので自分たちの今の生活に満足してらっしゃるのかなっていうのを、ちょっと推測した次第です。中々これこうやって調査ってないので、あとはやっぱりどうしても 17 ページからですよ。色んな事業、食の自立支援事業とか緊急通報システムサポート事業、ごみ出し、18 ページの色んな事業なんかも知らないっていう人が結構数値が高かったんで、やはりこの現実を、私たちが社協もそうなんですけど、いかに事業の説明を……あらゆる広報とかもそうなんですけど、周知するかっていうのがほんとに課題かなっていうことを改めて感じた次第です。

委員長

そうですね。成年後見も少ないですよ。

委員

少ないです。

委員長

ただ、この回答、選択肢ってほとんどは多分国からのですよ。うちでそんなに、市でいじれない。

事務局

国で必須で入れてくださってというのが多くあるんですけど、ただ、事業はうちがやっている事業、社協さんがやっている事業で変更してやっているっていう感じで、さっきのスマホのこととかは独自で質問しています。

委員長

そうですね。したくないという意味がちょっとね、あれですよ。

委員

そうですね。

委員長

ただ、他の計画なんかでもこういう結果をどう理解するかっていうのが難しく、例えば地域福祉なんかで言うとご近所づきあいの満足度を聞いた時に、あいさつができるので、近所の方との人づきあいはあいさつができるくらいなんで満足しますっていう人と、あいさつしかできないので不満足だ。もっと関わりたいとかもっと交流したい。同じようで全然違うんですよ。だからほんと注意深く見ないといけないと思います。

他にどうでしょうか。さっき事務局の説明でもありましたが、コロナであまり外に出て行かなくてそれで下肢、足腰が弱ってっていうような悪循環も考えられますよね。これは、過去においては足腰が弱くなって外出がままならなくなったっていう傾向がずっと続いていて。今回はそれよりも感染症というようなことで出歩くのがなくなったっていうようなことで、確かに一昨年、ある先生が行った調査で、施設に入所されている方なんかも、今一般の方もそうなんですけども、外出が減って他者との交流がなくなって身体的にだいぶ弱ってきているというようなことで調査結果として上がっているとのこと。

それから、大体の人は65歳ぐらいまでは何らかの形で収入を得ているのかな。65歳から制度に乗って年金っていうような形になっているのかなっていうのを思いますね。ただ、うちの周りの方だと70歳ぐらいまでは頑張るよっていうふうには皆さん言っていますけどね。実際にこういうのを見ると、ああ、65歳ぐらいまでなのかなっていうのは、ちょっとありましたね。

あとは、大体他の調査でも特に20ページのぐらいのところですよ。地域のつながり、つきあいとかですね、そういったことが他の調査でも大体半分ぐらいはこういうふうな地域のつながり、助け合い必要だよっていうふうなことは出ていますので、概ね同様の傾向かなというのはわかりましたね。

地域福祉計画なんかでいうと今度さらにそういった地域の助け合いとかがって

うのは、支え合っているのは、やっぱり住民と行政があるいは事業者間が協力し合って推進していくような形で、これも6割近くなりますので概ねそういった結果とそういう形かなっていうふうには、ちょっとわかりました。

3. その他

委員長

じゃあ、その他ですね。日々の高齢者福祉に関わる何か話題とか皆で話し合いたいということがあれば、ぜひこの場で、時間まだ若干ありますので出していただければというふうに思いますが、いかがでしょう。資料の3-2以降は特にはいいですか。

事務局

今日は特にはこちらからお話しする予定はなかったので、ちょっとまだ資料の方は見ておいていただければなと思います。

委員長

皆さま方を見ていただいたところで、もし何かご発言いただいても構わないと思いますが、よろしいですかね。

委員

お世話になっています。3-2の資料、3-3で、2番のところです。1ページの2番のところでも年齢層が60歳を超える方が45%で……。

委員長

資料3-3ですね。

委員

ケアマネさんの経験年数が5年以上、これはある意味経験ある方がたくさんあっていいなと思いつつ、逆に言うと、若い方が中々お見えになれないのかなというような状況ということと、じゃあ今の時点でこの先、5年、10年先を見ていた時に、中々事業継続が厳しいのかなと思いつつ見ていました。

委員長

ありがとうございます。そうですね。毎度の計画づくりの時には福祉人材をどう育成していくか、確保していくかっていうことは毎回課題となっていて様々な、ケアマネさんをはじめ協会の方も色々な取り組みをやられていると思うんですけど、中々難しいっていうのが現実にあるようであります。何かまた別な工夫なり取り組みっていうのを考えていけないのかなっていうふうに思っています。他にいかがでしょう、どうぞ。

委員

今福祉の人材に関して言われましたが、同じことになるかなと思いますが、資料 3-3、8 ページ、問 34 の②、訪問介護というのがあります。この、不足しているというのが、たくさん数字が多いですけども、これは事業所……不足っているのは事業所や介護職が少ないという部分に加味できる気がします。それで、不足しているというのがこの訪問介護と 34⑰の夜間対応型訪問介護、これも介護が少ない、不足している。それで、他のサービスは特に問題がないのが多いですね。ということは訪問介護だけが難しいのかな、人が不足しているのかなと思うわけですけども、この訪問介護だけが不足が多いって理由ってというのは何かありますでしょうか。

委員

訪問介護ですが、何年前かにアンケートやられた時にもずば抜けて不足しているが高くて、他の記録では 44%でずば抜けていますけれど、今回速報値とはいえ 64%でさらに上がっているということで、やはりヘルパーの高齢化というのがずっとここ 10 年ぐらいは言われている問題でして、ヘルパーのなり手が入ってこない。20 年前にヘルパーの資格を取った人がそのままずっとやっているというのがほとんどなので、40~50 歳の女性の方が取るというのが当時多かったんですけど、今ヘルパーが 75 歳くらいになってもヘルパーさんやっているというのが現状で。

今の 30 代~40 代が入ってくるかっていうとあんまり入ってこないっていうことになっていまして、ヘルパーの講座があまり埋まらないんです。新しくヘルパーに、訪問介護になろうって言う……資格が難しくなって費用が高くなった、昔は 10 万円もあれば取れたのに今 15 万円とか 20 万円とかかかるとか。

それから、この 20 年間の間に、他人の家の中に入って仕事をするという価値観がちょっと今の若い世代の方には受け入れにくい。デイサービスがそういう施設に入ってみんなで助け合ったほうがやりやすいかなという働き方を今思われるみたいで、家の中に入るといふことの抵抗感があってわざわざこのホームヘルパーを選ぶって価値観が変わってきて、事業所としては厳しいなというところですね。

あと、やっぱり他の事業者さんにも聞くとあまりもうからない業種だと、訪問介護は。やっぱり箱物をつくって来てもらったほうが収入は安定するねというところがあるので、そんなこんなで訪問介護は不足に対して参入してこないという現状かなというのがあります。

委員

ありがとうございます。ヘルパーさんは家事援助をやる、実際にやっている時だけの時間が報酬の対象になって、移動時間というのは対象にならないと以前聞きました。ですから報酬が少ない、給料が少ないからやりたくないというふうにするのかなと、そういうことを聞きました。

委員

実際おっしゃる通りですね。

委員

もう1つ、資料3-2の3ページ、問7、サービス開始当初と比較して現在はどうかということで、3番の「見込みより需要が少ない」というのが多いんですけども、30%もある。見込みより需要が少ないということは経営にも関係してくる、支障が起きるのではないかなと思います。どんなサービスの充実が少ないのか、わかったら教えていただきたいです

委託業者

訪問看護、デイサービスであったりですとか、あとは看護小規模多機能型居宅介護、こういったところで幾つか需要が少ないんじゃないかというようなお声を頂いているようなものもございます。こちらに関してはサービスごとの傾向というものも実際はあろうかと思えますけれども、事業所さんそれぞれでまた事情も違ってきますので、一概にこのサービスではもう需要がないというところでは、必ずしもこの調査だけで決定するものではありません。以上です。

脇田委員

ありがとうございます。

委員長

ありがとうございます。だいぶ前から地域密着型のサービスは整備もずっと続けてきましたので、そういう部分の中々稼働率、全体の、特に代表的な認知症のグループホームは稼働率が中々上がってこないっていうようなこともありました。われわれ、この計画の中ではいわゆるその3年間の中でこういった種類の施設、サービスを、どう計画的に整備していかっていくところもまた議論に入っていきますので、きちっと見込みを見ながらそういう整備計画っていうのをまたつくっていかなくちゃいけないっていうふうに思っています。他にはいかがでしょうか、どうぞ。

委員

認知症施策のことについてちょっとご質問なんですけど、アンケートでも認知症って皆さんアンケートに答えてくださっていると思うんですけど、今取り組んでいる見守りシールのところと、あと初期集中支援チーム、実績をわかっている範囲で教えていただけるとありがたいです。

事務局

見守りシールですが、令和3年7月から行方不明のある恐れがある方々にお配りしているものになります。現在のところ、お配りした人数としては90ちょっと

くらい、始まって開始から今現在で 90 人ぐらいの方々にお配りしておりますが、実際に貼られている方が行方不明になられてそのシールを読み取って発見や保護につながったという事例は、今のところございません。

初期集中ですけれども、今ちょっと資料が手元がないのでわかりませんが、6 人ほど今初期集中で対応していただいている方がお見えになるということです。

委員

ありがとうございます。先ほどの人数、90 人に配布されて発見された方はいらっしやらないということは、行方不明になってないってことで理解していいですか。

事務局

行方不明になられた方がいないのか、その辺の細かいところまではわかりませんが、それを利用して保護につながったという方はいらっしやらないということです。

高委員

わかりました。ありがとうございます。

4. 閉会

委員長

ありがとうございました。他にはないですかね。なければ今回の委員会、速報値ということで皆様のご意見・ご質問を頂戴したということです。これからの策定委員会の中でまたさらに詳細な資料が出てくるかと思しますので、また皆さま方と議論を深めながら課題を、良い計画をつくっていきたいというふうに思います。本日はありがとうございました。以上をもちまして本日の議事は全て終了したいと思いますので、マイクは事務局にお返しします。

事務局

委員長ありがとうございました。以上をもちまして、第 2 回策定委員会を終了いたします。次回の委員会ですけれども、7 月ごろ開催を予定いたしております。またご案内させていただきますのでよろしく願いいたします。では、本日は以上になります。ありがとうございました。

(終了)